

安全データシート		改訂日: 2021年7月8日	
1. 製品及び会社情報		プロモクレゾールグリーン溶液(pH用)	
製品名		米山薬品工業株式会社	
会社名		大阪府中央区道修町2丁目3番11号	
住所		(06)6231-3555(大阪・本社)	
電話番号		(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)	
		(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)	
整理番号		CB5068	
2. 危険有害性の要約		該当情報なし。	
GHS分類		火気に対する引火性はない。	
物理化学的危険性		該当情報なし。	
健康に対する有害性		該当情報なし。	
環境に対する有害性		該当情報なし。	
3. 組成、成分情報		混合物	
化学物質・混合物の区別		プロモクレゾールグリーン水溶液	
化学名		プロモクレゾールグリーン 0.04%	
成分及び含有量①		C ₂₁ H ₁₄ Br ₄ O ₅ S	
化学式又は構造式		(5)-533	
官報公示整理番号(化審法, 安衛法)	CAS RN:	76-60-8	
化学物質を特定できる一般的な番号		水酸化ナトリウム 0.01%以下	
成分及び含有量②		NaOH	
化学式又は構造式		(1)-410	
官報公示整理番号(化審法, 安衛法)	CAS RN:	1310-73-2	
化学物質を特定できる一般的な番号		水 残り	
成分及び含有量③		H ₂ O	
化学式又は構造式		対象外	
官報公示整理番号(化審法, 安衛法)	CAS RN:	7732-18-5	
化学物質を特定できる一般的な番号		水酸化ナトリウム	
危険有害成分			
4. 応急措置		直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。	
吸入した場合		汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。	
皮膚に付着した場合		速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。	
眼に入った場合			
飲み込んだ場合		水で口を洗い、多量の水を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。	
5. 火災時の措置		粉末消火剤、泡末消火剤、炭酸ガス、水	
適切な消火剤		燃焼性はない。できれば容器を安全な場所に移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。	
消火方法		消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。	
消火を行う者の保護			
6. 漏出時の措置		作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。	
人体に対する注意事項		適切な保護具を着用して作業する。	
保護具及び緊急時措置		河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。	
環境に対する注意事項		少量の場合には、おがくず・ウエス・砂などで吸収させて空容器に回収する。大量の場合には、土嚢などで流出を防止し、空容器に回収する。	
回収、中和			
7. 取扱い及び保管上の注意		適切な保護具を着用する。	
取扱い		局所排気装置を設置する。	
技術的対策			
局所排気・全体換気		目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。	
安全取扱い注意事項			
接触回避			
保管		容器を密閉して保管する。	
技術的対策		換気のよい冷所に、直射日光を避けて保管する。	
適切な保管条件		該当情報なし。	
混触危険物質		ポリエチレン, ガラス	
容器包装材料			

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度
管理濃度
日本産業衛生学会
ACGIH
設備対策
保護具
呼吸器の保護具
手の保護具
目の保護具
皮膚及び身体の保護具
衛生対策

未設定
未設定
未設定
取り扱い出来るだけ密閉化するか、局所排気装置を使用する。
該当情報なし。
該当情報なし。
保護手袋を着用する。
保護眼鏡を着用する。
作業衣を着用する。
取扱後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
色
臭い
融点/凝固点
沸点又は初留点及び沸騰範囲
可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
引火点
自然発火点
分解温度
pH
動粘性率
溶解度
n-オクタノール / 水分配係数
蒸気圧
密度及び/又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

液体
黄～黄褐色
無臭
該当情報なし。
約100℃
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
（変色範囲: 黄 pH 3.8-pH 5.4 青）
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
約1.0
該当情報なし。
該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

通常の取り扱いに於て安定。
該当情報なし。
日光, 熱
該当情報なし。
一酸化炭素, 二酸化炭素, 硫黄酸化物, ハロゲン化合物

11. 有害性情報

急性毒性
皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露
誤えん有害性

経口: LD₅₀ 40mg/Kg(水酸化ナトリウム)
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性
生態蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層に対する有害性

短期: 該当情報なし。
(急性)
長期: 該当情報なし。
(慢性)

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
引用文献	Merck Index 14th 16615の化学商品 化学工業日報社 The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。